

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター本部



○事業所名	COMPASS発達支援センター本部 放課後			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでいます。
2	作業療法士、理学療法士等の専門の職員の意見をベースに教員や保育士等、チームでさまざまな意見を出し合い、身体能力の向上やソーシャルスキルトレーニングをおこなっております。	運動療育だけに限らずに対人関係や個々に対する課題に対して多様性をもったアプローチ方法を考案して取り組んでおります。 限られたスペースで楽しめるゲームと、体育館や屋外など広い場所で体を思いっきり動かして運動する遊びを取り入れております。	固定したプログラムにならないよう工夫して取り組んでまいります。 また、研修会や講演などの勉強会に出席し、新しい情報を常に参考にしております。
3	児童が主体的に取り組むことを大切にしております。 長期休みでは児童達を楽しめるようにいろいろなイベントを考え実行しております。	経験を積むことによって児童自身の主体性を引き出し、自己決定ができる学びを意識して取り組んでおります。 また、社会とのつながりを育むためにも「子ども食堂」や公園を利用する機会を取り入れております。	客観的な視点も持つことによって「自分らしさ」「相手らしさ」を受け入れる姿勢をもつ取り組みをおこなってまいります。また、ポジティブ思考を持ち、楽しく生きる力を身につけられるように支援してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各ご家庭単位では情報共有等の連携ができておりますが、父母の会等の交流会の開催ができておりません。	保護者交流会の開催に関しましては、平日では参加できる保護者様に限りがありますので、土、日、祝日等事業所の閉所日で設定する必要があります。 従業者の振り替え休日を勘案すると平日の受け入れ体制に影響が出てしまう為、要検討課題と考えております。	まずは保護者様へ移行の確認をおこない、実際に集合しなくても情報発信が出来る方法を模索していく必要があると考えております。
2			



公表日：令和 8 年 2 月 25 日